



木と人と

Company Profile
山下木材株式会社



やすらぎとゆとりのある暮らし。 それが私達の願いです。

創業昭和2年。製材のプロフェッショナルとして木とともに、
時代とともに、私たちの会社は長い歴史を生きてきました。
エコロジーの重要性が叫ばれ、天然資源の大切さが問われる今、
木材に関わる私たちの役割は全知全能を発揮し、木の命を活かす心掛けを
持ち続けることです。

岡山県北部、真庭市。ここは緑豊かな美作材の里。
木に囲まれたやすらぎとゆとりのある暮らしを願い、
その一助となるべく私たちはこれからも皆様と共に歩み続けます。

M e s s a g e

気がつくとも日本は世界有数の森林大国になっております。
世界中から大量の木材を輸入し、国内の木材は高いからと
言って使わなかったことで、残された伐期を迎えた山がいくら
でもあります。

お客様で弊社は平成29年で創業90周年を迎えることが
できました。本当に長い年月に渡って支えていただいたお客
様、地域の皆様、とりわけ会社のために全力で働いてくれた、
過去から現在の従業員の皆様に改めて感謝申し上げます。

これから100年、150年と歴史を重ねて行くために、汗を流
し、知恵を絞り、その半ば放置された日本の山をもう一度、山
下木材の力で「宝の山」にしたいと思います。

今後ともご支援、ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 山下 豊

製材から加工までのプロセス

山下木材では、製品を、製材・乾燥・加工までのトータルな管理のもと、
建築用構造材、造作材、羽柄材、各種フローリング・ピーリングなど、
お客様のご要望にあわせた製品を、JAS認定の安定した品質で提供いたします。



乾燥 ● 含水率20%以下



製材 L u m b e r

美作材KD

● ブランドについて

優良な丸太のみを仕入れ、その丸太を最大限利用するよう製材し、建築用材である「柱」や「梁・桁」と呼ばれる構造材、「間柱」や「垂木」などの羽柄材、また「フローリング」や「ピーリング」と呼ばれる化粧板などの生産を行っています。

現在は「美作材KD」のブランドで、構造材、羽柄材、造作材など含水率20%以下に仕上がっています。その他の基準はJAS（日本農林規格）、FIPC（合法木材）、SGEC（森林認証）に対応しており、安心してお使いいただけます。



● 真庭について

岡山県は、ヒノキをはじめとした木材の丸太生産量で、全国有数の名産地。その岡山県北西部、中岡山脈の南側中腹に位置する「真庭市」は、蒜山を背に自然豊かな山林に囲まれ、古くから林業・製材業が盛んな地域です。原木市場や製品市場、それらを支える多くの製材工場が立地し、効率的な木材生産・加工・流通体制が整備されています。私ども山下木材株式会社も、そんな恵まれた環境の中で、生産組合員の一員として美作材KDを生産・販売しております。



山下木材の製品について

● 山下木材の製品について

山下木材の製品はJAS認定を受けた、製材から乾燥、加工までのトータル管理システムのもと、フローリング・ピーリングや柱材を製造しております。優れた人工乾燥技術により含水率20%以下を徹底。そのため材の収縮や割れを生じることが少なく、均一で高品質な製品を安定供給することが可能です。



フローリング ピーリング

● 加工の種類と記号

YDMHC-15



フローリング

「用途」内外装床材
および壁板



- ・フローリング YF-※※
(別注品の場合: 厚み9^{mm}~40^{mm}, 幅60^{mm}~165^{mm})
- ・台形フローリング YDM 00
(別注品の場合: 厚み9^{mm}~21^{mm}, 幅75^{mm}~165^{mm})
- ・台形フローリング外部用 YDMH-00
隠し釘止 (仕上がり寸法が2ミリ小さくなります)
(別注品の場合: 厚み9^{mm}~16^{mm}, 幅75^{mm}~165^{mm})
- ・台形フローリング内部用 YDMHC-00
隠し釘止 (仕上がり寸法が2ミリ小さくなります)
(別注品の場合: 厚み9^{mm}~16^{mm}, 幅75^{mm}~165^{mm})

ピーリング 目透かし

「用途」内外装壁板 天井および腰板

- ・ピーリング目透かし YFM-00
(別注品の場合: 厚み9^{mm}~40^{mm}, 幅60^{mm}~165^{mm})
- ・ピーリング目透かし内部用 YFMHC-00
(別注品の場合: 厚み9^{mm}~15^{mm}, 幅75^{mm}~165^{mm})

- ・相決 YI-00 内外装壁板、軒天および型枠用
(別注品の場合: 厚み9^{mm}~21^{mm}, 幅75^{mm}~240^{mm})
- ・相決目透かし YIM-00 内外装壁板および訂丈
(別注品の場合: 厚み9^{mm}~40^{mm}, 幅75^{mm}~240^{mm})

※加工形状の詳細については、別紙「加工形状一覧」をご覧ください。



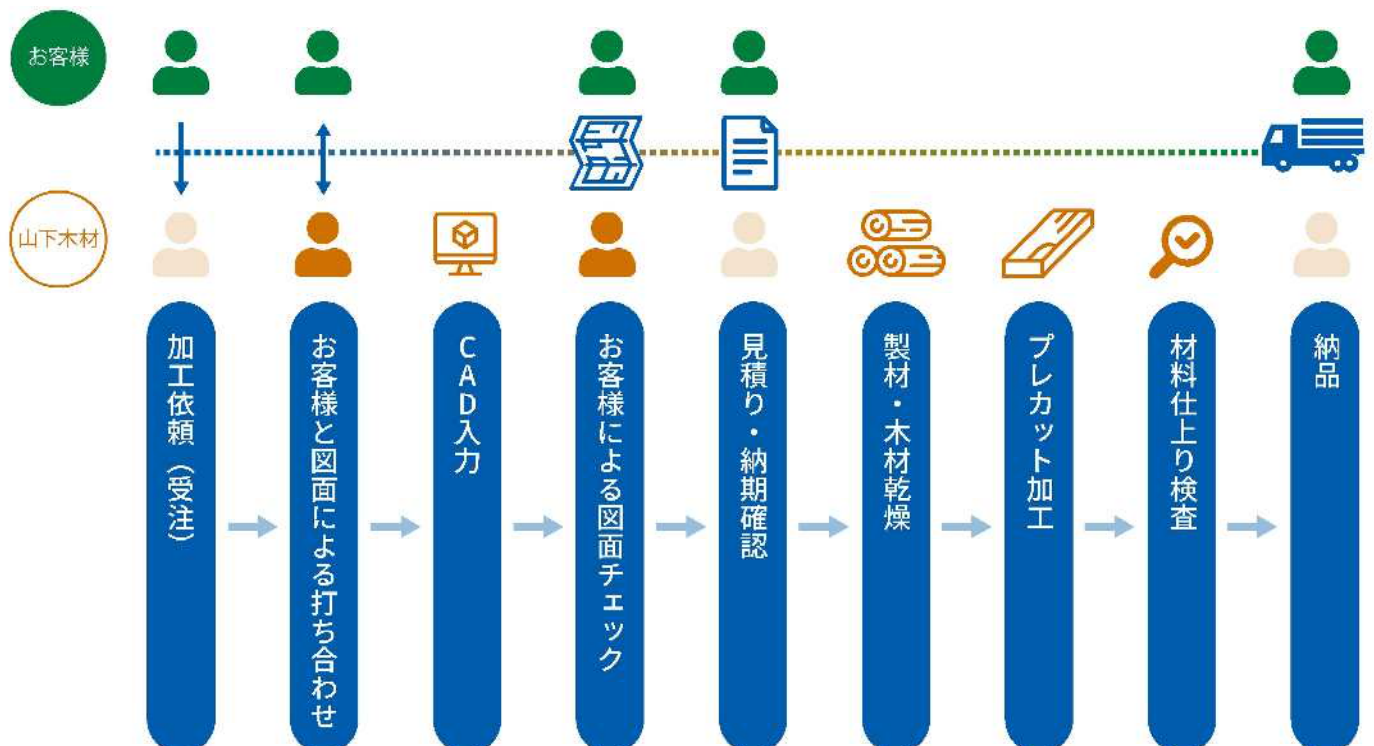
真庭プレカット

● 真庭プレカットの特徴

CAD/CAMの導入により、構造材の加工を一貫して行い、大幅な省力化を実現するプレカットシステム。誤差0.1mm以下の高精度の仕上がりで、品質のバラつきが少なく、常に高品質の製品を安定供給することが可能です。山下木材ではプレカットシステムの先端技術に、創業より培った木材の取扱いノウハウと匠の技を融合し、戸建住宅から集合住宅、大規模木造建築物や社寺建築まで、現代のニーズと価値観にあった質の高い製品を製造。木造軸組工法の工期短縮・コストダウンに大きく貢献することが可能です。



● 真庭プレカットの製造フロー



山下木材について

Life

やすらぎとゆとりのある暮らし。それが私たちの願いです。

Inspire

木は働きかける。木は語りかける。

Vision

次世代のビジョンを掲げて明日を見つめる。

Enjoy

人の和を大切に仕事も暮らしも楽しみたい。



01

ヨシダ コタロウ

吉田 虎大朗

本社第1工場(製材)
2017年4月1日入社

横バンド結束機の
機械操作に従事

入社から1年経ち、会社の雰囲気にも慣れてきました。初めは分からなかった事や出来なかった事も、月日を重ねる毎に覚えることが出来て、自分も少しは成長できたのではないかと思います。これからも色々な事を学び、もっと成長出来るように頑張ります。



02

ゴ イイ

呉 偉偉

真庭プレカット
2017年4月18日入社

プレカット用データ
(プレカットCAD入力)を
製作すること

私にいつも優しく接してくださり、会社の先輩方には本当に感謝しています。そして、困難に対して逃げることなく、職場の仲間たちと共に目標を達成して、お客様の笑顔と感謝は私の喜びややりがいです。



03

タカイ シュウジ

高井 修治

工場長
2002年11月1日入社

配達の段取り・トラック積込
電話対応、製品管理など。
工場全体の指揮管理

山下木材の安定した品質を保ちながら、お客様に喜んでいただける製品を作りたいです。

Staff Voice

職場環境



休日・休暇

日曜・祝日、他年間休日カレンダーによる
年間有休休暇 夏季休暇 年末年始休暇 慶弔休暇



福利厚生・制度

各種社会保険 退職金制度 確定拠出年金制度 社員旅行



教育制度

新入社員研修 各種免許取得支援(フォークリフト・ボイラー技士他)

会社概要

Profile

社名	山下木材株式会社
代表者名	山下 豊
所在地	〒719-3203 岡山県真庭市富尾 218
電話	0867-42-1100
FAX	0867-42-1102
設立	昭和 25 年 10 月
従業員	49 名
資本金	4,500 万円

沿革

Outline

昭和 2 年	兵庫県宍粟郡山崎町にて山下松治、製材を開業。
昭和 14 年	山林資源を求めて岡山県へ工場の移転を計画、調査を行なう。 翌年岡山県真庭郡久世町、駅前に用地を確保する。
昭和 16 年	兵庫県より岡山県への工場移転完了、操業開始。
昭和 18 年	戦時下の国策により工場を岡山県木社へ強制買収される。
昭和 21 年	終戦により岡山県木社解散、工場を返還され再び山下製材所として再出発。
昭和 25 年	組織替を行ない山下木材株式会社となる。 初代社長 山下松治
昭和 29 年	工場の全面改造を行ない、建物・機械を新たにする。
昭和 31 年	大阪出張所を大阪市西淀川区大和田東 2-1 に開設。
昭和 35 年	山下松治社長死去、二代目社長に山下タケノ就任。
昭和 41 年	工場を久世町富尾へ移転、旧工場を第二工場として残す。
昭和 45 年	第二工場を富尾本社工場の横に移転、旧工場は資材倉庫とし現在に至る。
昭和 48 年	山下タケノ会長に昇格、山下忠雄三代目社長となる。 岡山営業所用地として岡山県児島郡藤田村錦 673 に土地を確保。
昭和 49 年	岡山営業所開設。
昭和 58 年	山下忠雄会長に昇格、山下順次四代目社長となる。
昭和 59 年	新しく木材乾燥設備導入。
昭和 63 年	加工部門の設備更新により加工工場を建設。
平成 3 年	創立 65 周年事業として第一工場機械設備の全面更新及び、65 周年記念式典を行なう。
平成 4 年	本社事務所の建設。工場及び乾燥施設の増設、以後随時増設する。
平成 8 年	創立 70 周年事業としてプレカット工場（真庭プレカット）を新設、70 周年記念式典を行なう。
平成 9 年	高温乾燥機を導入、以後順次増設。
平成 14 年	山下順次会長昇格、山下豊五代目社長となる。 木屑焚きボイラ新設。
平成 15 年	グレーディングマシン導入。
平成 16 年	四面背割柱の量産化を開始。更に乾燥設備を増設し乾燥材生産能力を全生産量の 70% まで高める。 プレカット工場に羽柄材加工機を導入。
平成 17 年	第二工場に間柱生産ラインを新設。
平成 18 年	合法木材事業者認定を取得する。
平成 19 年	第二工場に無人ツインバンドソーを新設、合わせて丸太皮剥き機を更新。
平成 20 年	FIPC 木材表示推進協議会会員となる。
平成 21 年	JAS 人工乾燥構造用製材（A タイプ）認定工場となる。
平成 23 年	岡山営業所を岡山市南区藤田から岡山市南区浦安本町へ移転。
平成 25 年	JAS 機械等級区分構造用製材の認定工場となる。
平成 26 年	乾燥施設増設（3 台）、石油ボイラ増設、ほぼ 100% 人工乾燥できる体制へ。
平成 28 年	緑の循環認証会議（SGEC）CoC 認証を取得する。
平成 29 年	創立 90 周年。
平成 30 年	JAS 製材品普及推進展示会において 9 度目の農林水産大臣賞受賞。 第 57 回農林水産祭において日本農林漁業振興会会長賞受賞。



山下木材株式会社



山下木材株式会社

JAS Aタイプ認定工場 (JLIRA-A-043、076) 合法木材及びSGEC認定工場

本社 〒719-3203 岡山県真庭市富尾218
 TEL 0867-42-1100 FAX 0867-42-1102
 maniwa@yamashitamokuzai.co.jp

真庭プレカット 〒719-3203 岡山県真庭市富尾236-1
 TEL 0867-42-7055 FAX 0867-42-8030
 precut@yamashitamokuzai.co.jp

岡山営業所 〒702-8026 岡山市南区浦安本町73-4
 TEL 086-239-7611 FAX 086-239-7622
 okayama@yamashitamokuzai.co.jp

ホームページ <http://www.yamashitamokuzai.co.jp/>

